

学校だより

平成29年10月2日発行 第6号

朝霞市立朝霞第四中学校
〒351-0012 朝霞市栄町5-1-60
TEL: 048-466-4711
FAX: 048-467-4744
E-mail: 4chuu@asaka-c.ed.jp
文責: 校長 唐松 善人

目指す学校像 一人一人が輝く 明るく楽しい学校 あたたくきれいな学校

勁草



平成21年度のことで、埼玉県教育委員会から推薦をいただき、中央研修（文部科学省共催）を受講しました。茨城県つくば市にある教員研修センターで3週間ほど宿泊を伴いながらの研修でした。

この研修では、課題が多く出され、毎日、夜遅くまで机に向かって勉強しました。土曜日・日曜日でも埼玉県には帰らず、一日中、机に向かって課題に取り組みました。学校経営に参考となる課題であったため、自分なりに興味を持って進んで学ぶことができました。この研修を通して、自ら学ぶことの大切さを改めて実感しました。

また、中央研修は、全国各地から受講者が集まってくる研修であるため、多くの先生方と知り合うことができました。そして、全国各地の教育情報や先進的事例を直接聞くことができるとても有意義なものでした。「本」から学ぶだけではなく、「人」から学ぶことの大切さも改めて実感しました。

このように学ぶことの多かった研修でしたが、一番心に残ったことは、「勁草（けいそう）」という言葉でした。研修の中で、ある講師の方が、「疾風（しっふう）に勁草（けいそう）を知る」という言葉を紹介してくださいました。この言葉の意味ですが、「激しい風（疾風）が吹いて初めて強い草（勁草）が見分けられる。艱難（かんなん）にあつて初めて節操の固いこと、意志の強いことが分かる」ということです。困難な状況に遭遇したときにこそ、その人の本当の強さが分かるということなのでしょう。

さらに、この講師の方は、「どうかエリート意識を持った先生だけにはならないでください。こうした人は非常時にはとても弱い。児童生徒のことを最優先に考えて教育現場を這いずり回りながら、勁草のように、どんなに強い風が吹こうとも、どんなに強く踏みつぶされても、何度でも立ち直る強い力を持った先生になってください」と言われました。私は感銘を受けました。確かに、教育を取り巻く環境は厳しいものがあるかもしれませんが、しかし、厳しい環境の中にあつても、生徒のことを第一に考えた強い信念を持って教育活動に取り組まなければならないと思いました。

研修を終えてから時間は経ちましたが、「勁草（けいそう）」という言葉をよく思い出します。この言葉の意味を噛み締めて、日々、生徒一人一人を大切にしたい学校経営を行いたいと考えております。



四 中 の 様 子



【修学旅行】

第3学年が奈良・京都方面に修学旅行に行きました。実行委員を中心に主体的に行動することができました。2泊3日の旅行を通して、学年・学級への所属感が高まりました。

【校外学習】

第1学年が川越に、第2学年が鎌倉に校外学習に行きました。目的を意識した班別行動ができました。本校では、修学旅行を見据えて、3年間で系統的に生徒の自主性を育成しています。

【立会演説会】

生徒会役員選挙の立会演説会が行われました。今の「よい四中」を、伝統を継承しながら「さらによい四中」に発展させたいという思いが各立候補者からよく伝わってきました。